

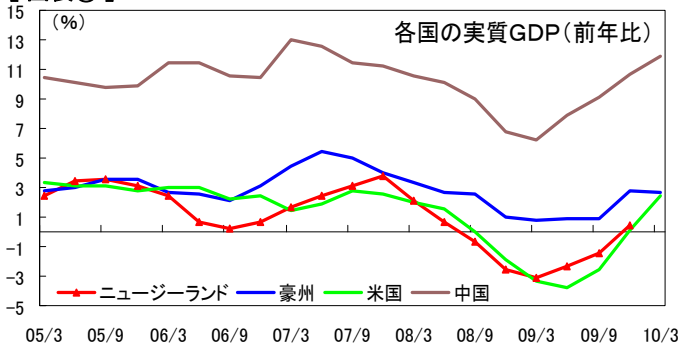
## ニュージーランド経済について

- ✓ 交易条件※の改善や、主要輸出先の景気回復の恩恵を受け、ニュージーランドの成長率は3期連続のプラスを維持。
- ✓ 住宅価格の底打ちに歩調を合わせ、消費者心理も改善。今後は強い資金需要を伴う景気回復に発展するかがカギ。

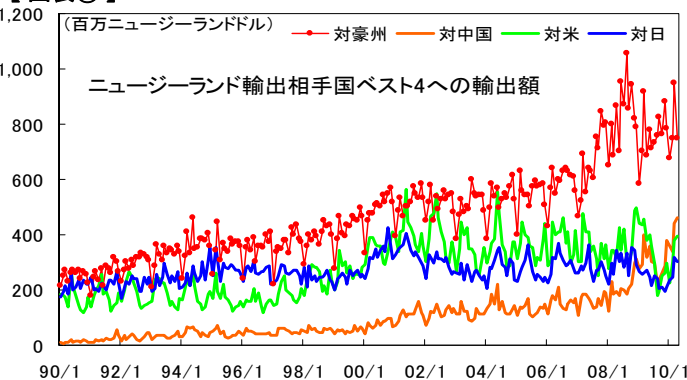
※輸出物価を輸入物価で割ったもの

ニュージーランドの成長率は3期連続のプラスを維持しています(図表①)。プラス成長の背景には、交易条件の改善や、主要輸出先である豪州、中国、米国(輸出全体に占めるウェイトは、順に19%、12%、10%)の景気回復の恩恵を受けていることが挙げられます(図表②)。例えば、ニュージーランドの最大輸出相手国の豪州の景気回復に連れて、改善しています(図表③)。

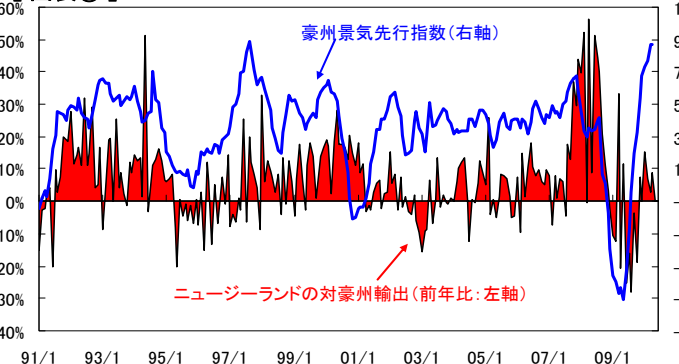
【図表①】



【図表②】

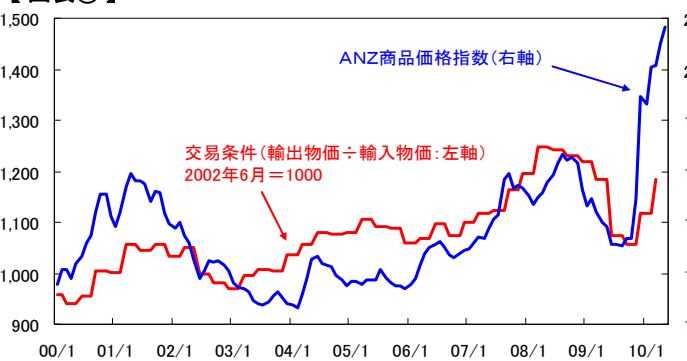


【図表③】

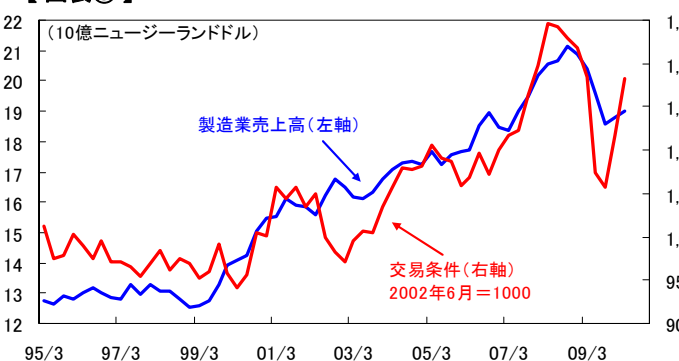


また、主要輸出品目の約4割を占める肉類・酪農製品に基づいたANZ商品価格指数は上昇しており、今後の交易条件の改善を示唆しているようです(図表④)。交易条件の改善は、農業・鉱業部門等、製造業の収益改善につながり、幅広く景気回復に貢献するものと考えます(図表④⑤)。

【図表④】

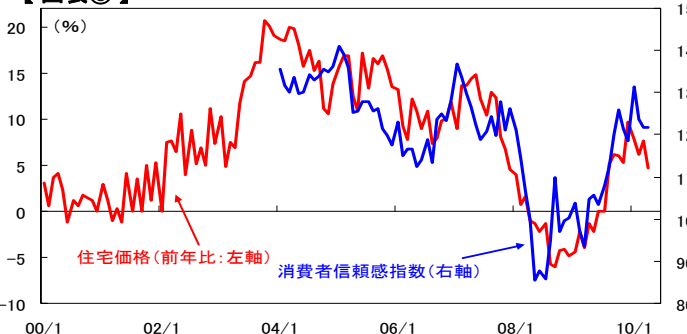


【図表⑤】

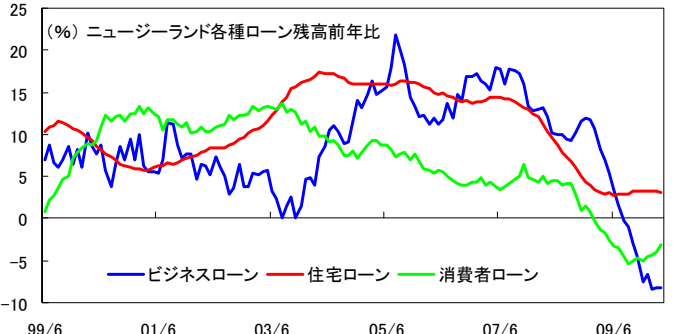


住宅価格の上昇に伴い、消費者信頼感も高まりつつあります(図表⑥)。他方、住宅ローンをはじめその他のローンの伸びが低迷しています(図表⑦)。今後は、資金需要を伴う本格的な内需の回復に発展するのが要注目です。

【図表⑥】



【図表⑦】



出所:図表①~⑦は、ブルームバーグのデータを基にニッセイアセットマネジメント作成

当資料は市場環境に関する情報の提供を目的としてニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。当資料のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。 <審査確認番号H22-TB53>